

事業番号 2022 - 文科 - 新22 - 0015

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	感動する大学スポーツ総合支援事業			担当部局庁	スポーツ庁		作成責任者		
事業開始年度	令和4年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	地域スポーツ課 参事官(地域振興担当)		地域スポーツ課 課長 橋田 裕 参事官(地域振興担当) 田中 一明		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	スポーツ基本法第28条			関係する 計画、通知等	第2期スポーツ基本計画(平成29年3月24日) 第3期スポーツ基本計画(令和4年3月25日) 未来投資戦略2017(平成29年6月9日閣議決定)				
主要政策・施策	-			主要経費	文教及び科学振興				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「大学スポーツ」は、単に一部の学生アスリートにとってのみ重要なものではなく、大学全入時代の中で、多くの学生にとっても大学スポーツを通じ、健康の維持増進や社会的スキルの獲得といったスポーツの価値・効用を得ることができる貴重なものである。また、大学は素晴らしいスポーツ資源(人材、施設、知識など)を有し、大学スポーツを通じて地元地域の発展を支える存在として重要な地位を占めている。「大学スポーツの振興」と「大学スポーツによる地域振興」とを総合的に支援し、(一社)大学スポーツ協会(UNIVAS)とも連携・協力し、「感動する大学スポーツ」の実現を目指す。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「大学スポーツの振興」として、学生が安全に安心して大学スポーツに取り組む環境を構築するため、大学の適切な関与・支援体制の構築や、大学スポーツにおける怪我・事故の予防のための研究を行い、安全・安心な大学スポーツ環境の確立を促進するほか、大学スポーツの認知向上・価値向上(ムーブメントの創出)についての調査研究を実施する。また、「大学スポーツによる地域振興」として、大学の有するスポーツ資源(人材、施設、知識など)を有機的複合的に活用し、自治体等の地域の組織・団体とも十分に連携した様々な地域振興の取組を選定し、コンサルティングを行いながら、モデル的に実施、検証分析し、その成果の全国への横展開を図る。このほか、UNIVASの実施する普及啓発事業の一部に対し支援を行う。								
実施方法	委託・請負、補助								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	196.9	251.5		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計		0	0	0	196.9	251.5		
	執行額		0	0	0				
執行率(%)		-	-	-					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	-					
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由				
	民間スポーツ振興費等補助金		82.2	120.8	民間スポーツ振興費等補助金(大学スポーツ協会補助)の新規補助メニュー追加				
	スポーツ振興事業委託費		114.7	129.4					
	職員旅費		0	0.6					
	委員等旅費		0	0.4					
	諸謝金		0	0.2					
計		196.9	251.5						
活動内容 (アクティビティ)	「大学スポーツの振興」として、大学の適切な関与・支援体制の構築を推進し、大学スポーツ統括団体である(一社)大学スポーツ協会(UNIVAS)とも連携することで、学生が安全に安心して大学スポーツに取り組む環境を構築する。								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	学生が安全に安心して大学スポーツに取り組む環境を構築	大学の大学スポーツへの適切な関与体制事例調査における事例の集積	活動実績	大学	-	-	-	-	-
			当初見込み	大学	-	-	-	40	-
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	感動する大学スポーツ総合支援事業(安全・安心な大学スポーツ環境の確立促進に関する調査研究)予算額/大学の大学スポーツへの適切な関与体制事例調査における事例数			単位当たり コスト	百万円	-	-	-	0.3
			計算式	百万円/事例数	-	-	-	10.5/40	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 5年度	目標最終年度 7年度
	一般社団法人大学スポーツ協会に加盟する大学数の増加を目指す。	一般社団法人大学スポーツ協会の加盟大学数	成果実績	大学	-	-	-	-	-
			目標値	大学	-	-	219	250	400
			達成度	%	-	-	-	-	-

根拠として用いた統計・データ名 (出典)		令和3年度までの一般社団法人大学スポーツ協会補助事業にて設定した目標値(設立準備員会事務局・スポーツ庁発行「一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)について」より。全日本大学野球連盟加盟大学数(381)及び全日本学生サッカー連盟加盟大学数(359)から設定)を継続。									
活動内容 (アクティビティ)		大学スポーツ資源を有機的複合的に活用した取り組みを通じて、自治体等の地域が抱える様々な課題解決を図るため、モデル的に取り組みを実施、検証分析を行い、シンポジウム等でその成果を発信する。									
活動目標及び活動実績 (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
		大学スポーツ資源による地域振興モデル事業の創出	大学スポーツによる地域振興事例のモデル事例創出数	活動実績	件	-	-	-	-	-	
単位当たりコスト		算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
		執行額(百万円)/事業実施件数 ※感動する大学スポーツ総合支援事業の実施 (令和4年度以降)		単当たりコスト	百万円	-	-	-	10.5		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標年度	目標最終年度	
		大学スポーツ資源を活用し、地域振興に取り組む大学の増加	大学スポーツ資源を活用し、地域振興に取り組む大学の増加	成果実績	件	-	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)		スポーツ庁「大学スポーツの振興に関するアンケート調査」									
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	11 スポーツの振興								
		施策	11-1 スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の拡大と、そのための人材育成・場の充実	政策評価書URL		該当箇所					
	新経済・財政再生計画改革工程表 2021	取組事項	分野:	-	記載なし						
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:		記載なし						
		該当箇所		記載なし							
事業所管部局による点検・改善											
国費投入の必要性	項目					評価	評価に関する説明				
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。					○	第3期スポーツ基本計画に国による取組が明記され、政策の優先度が高い事業である。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					○	国の政策の企画・立案のための全国規模の調査を行うことは地方自治体、民間に委ねることは出来ず、国が主体的に行う必要がある。				
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。					○	第3期スポーツ基本計画に国による取組が明記され、政策の優先度が高い事業である。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					○	支出(委託)先の選定に当たっては、十分な公示期間を確保した上で公募(企画競争)を行い、その妥当性や競争性を確保する。一社応募を回避するためには、公募額や契約期間・公示期間の見直し等の検討が必要。				
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。					無					
	競争性のない随意契約となったものはないか。					無					
	受益者との負担関係は妥当であるか。					○	委託金額については、事業経費の費目・使途の内容を厳正に審査して決定する。				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。					○	委託契約の締結に当たっては、事業経費の費目・使途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックを行う。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					○	経費の執行については、事業年度ごとに実績報告書等において、支出先・使途の把握、経費の使用状況等の確認に努めている。				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					○	委託契約及び委託額の確定手続きに当たっては、事業経費の黙秘・使途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックを行う。				
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)					-						
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)					-						
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。					○	委託費の額の確定において、費目・使途の内容を厳正に審査するなど適切にチェックを行う。					

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	成果目標を達成するためには、本事業により先進的モデル事業を形成した上で普及することが必要であると考えており、成果実績は成果目標に見合っている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	委託契約及び額の確定に当たっては、事業経費の費目・用途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックを行い、低コストでの実施に努める。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	成果目標を達成するためには、本事業により先進的モデル事業を形成した上で普及することが必要であると考えており、活動実績は成果目標に見合っている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	本事業で得られた成果物は、スポーツ庁HPに公表予定であり、各大学におけるスポーツ支援体制の整備や地域振興等のため活用を促す予定である。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-
	事業番号		事業名	
				-
				-
				-
				-
点検・改善結果	点検結果	本事業は、スポーツ基本法やスポーツ基本計画に明記されるスポーツ振興や大学との連携及び協力の促進に資するものであり、政策の優先度が高い事業である。		
	改善の方向性	本事業の実施に当たっては、事業の影響が直接及ぶ大学関係者等の意見等を踏まえながら、ニーズに合った施策を検討するとともに、検討結果が国内関係者に周知されるよう、次年度以降の施策も着実に実施していく必要がある。		
外部有識者の所見				
外部有識者による点検対象外				
行政事業レビュー推進チームの所見				
事業の実施状況等を踏まえ、適切なアウトカムの設定について不断の見直しを図ること。引き続き事業の着実な実施及び適切な予算執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
-				
備考				
第3期スポーツ基本計画: https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop01/list/1372413_00001.htm スポーツ庁HP「大学スポーツの振興」: https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop09/list/1402909.htm				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成28年度	新29-0036			
平成29年度	新29-0029			
平成30年度	312			
令和元年度	文部科学省	-	0304	
令和2年度	文部科学省		0306	
令和3年度	2021	文科	20	0329
	2021	文科	新22	0025

